

中野区デジタル地域通貨事業の考え方等について

これまで物価高騰対策とキャッシュレス決済のさらなる推進を目指し、ポイント還元事業を実施することにより一定の効果をあげてきた。一方で、付与したポイントが区内消費活動に還元されていない懸念や、決済手数料の負担感などの課題が生じている。これらの課題を解決するとともに、区内経済の活性化・区内事業者の経営力強化と、構築したプラットフォームを活用した地域コミュニティの形成・円滑化を目指し、検討を進めている中野区デジタル地域通貨事業の考え方について報告する。

1 事業目的

(1) 区内経済の活性化・区内事業者の経営力強化

- ① 中小事業者を中心とした区内事業者のデジタル化の促進と経営力の強化
キャッシュレス決済の推進、決済手数料の負担軽減、DX化の促進
- ② 付与ポイントの域内還元による区内経済循環の促進と区民の生活を支援
還元事業やコミュニティポイントの付与、地域経済の活性化
- ③ 既存の地域通貨（区内共通商品券）の紙媒体からの電子化を支援

(2) 区の政策・施策の側面的促進（地域通貨をプラットフォームとした展開）

- ① 公益活動などの取り組みにポイントを付与することで行動を変容
地域の課題解決、中野区への愛着の醸成
- ② 区独自の給付金支給等に活用することで構築経費の削減、機動的な対応の実現

2 事業の方向性

(1) プラットフォームの構築

- ・アプリケーションは利用者、店舗双方にとって使いやすいものとする。
- ・区内共通商品券や区の事業と連動したコミュニティポイント付与の運用など、機能の拡張性があるものとする。
- ・使用期限を定め、短期間で消費に回るようにする。

【検討している機能の例】

- ・加盟店舗が販売記録を管理できる機能
- ・発行したコミュニティポイントが1ポイント=1円相当として利用できる機能
- ・地域通貨やポイントの利用条件を設定できる機能

(2) 加盟店の拡大

- ・区内経済団体と連携しPRを行う。
- ・決済手数料、換金手数料など店舗側の負担が過度にならない設定とする。
- ・プレミアム付デジタル地域通貨の発行等のキャンペーンを実施する。

(3) 利用者の拡大

- ・使用感が良いものとする。
- ・プレミアム付デジタル地域通貨の発行等のキャンペーンを実施する。

(4) その他

- ・発行主体は区とする。
- ・デジタルに不慣れな方への対応を丁寧に行う。

3 事業実施により期待される効果

区	事業者	区民
・政策や施策の推進 ・地域課題の解決 ・給付等事務の効率化（業務改善）	・経営力の強化 ・店舗側手数料の負担軽減 ・キャッシュレス決済の普及 ・販売機会の増加	・地域への愛着の醸成 ・プレミアムの享受 ・コミュニティ活動等へのポイント付与、利用

4 経過・今後のスケジュール

- 令和5年 5月～10月 … 調査・研究（シンクタンクとの協議など）
7月～ 8月 … 他区への視察・ヒアリング
9月～11月 … 区内経済団体等との意見交換、庁内検討
12月～ … 区内関係団体との意見交換
- 令和6年 1月 … 中野区デジタル地域通貨事業について議会報告
- 令和6年度 … デジタル地域通貨の導入・普及促進
- 令和7年度 … デジタル地域通貨の普及促進
区の施策と連動させたコミュニティポイントの検討
- 令和8年度 … 区の施策と連動させたコミュニティポイントの実施